

CSR 調達ガイドライン

2024年12月

大同メタル工業株式会社



(はじめに)

近年企業を取り巻くステークホルダー（お客様、株主様、従業員、お取引先様、地域社会などの利害関係者の皆様）のCSR（企業の社会的責任:Corporate Social Responsibility）に対する関心が高まっております。大同メタルグループではCSRへの取り組みは企業価値の向上、持続的成長につながるものと考え、重要な経営課題の一つとして推進しております。

現在、当社グループでもCSR活動を行っておりますが、今後サプライチェーン全体で、ともに持続的な成長を図る上で、CSRの取り組みを果たしていくことが必要と認識しており、「CSR調達ガイドライン」を策定いたしました。お取引先様におかれましても、本ガイドラインを参考にいただき積極的な活動を推進いただきますようお願い申し上げます。

なお、当ガイドラインの取り組みについて今後、国際的な動向や、社会的な要請により見直しをして、取り組み強化を図ってまいります。その折は改めて通知の上、展開をしてまいりますので、よろしく申し上げます。

取締役兼常務執行役員（購買担当役員）

墓越 繁昌



1. 大同メタルグループの企業理念

1.1 企業理念

1. 会社の務(つとめ)

社員の幸せをはかり、地球社会に貢献する

2. 会社の心(こころ)

企業倫理を重んじ、活力あるオープンな企業風土をつくる

3. 会社の源(みなもと)

常に市場から学び、お客様の信頼に応える

4. 会社の途(みち)

創造と革新につとめ、夢に挑戦する

5. 会社の志(こころざし)

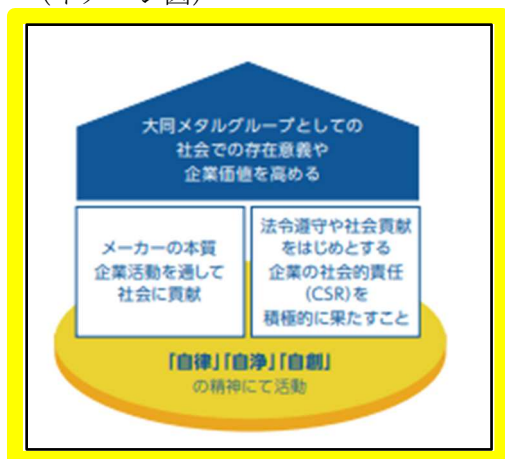
世界のトライボロジーリーダーを目指し、技術を磨く

1.2 大同メタルグループのCSRの考え方

当社グループは、企業市民として責任ある行動が求められる中で成長し続けるためには、事業活動を通じて社会に貢献する役割を持続することはもちろんのこと、法令遵守や社会貢献をはじめとする企業の社会的責任（CSR）を果たし、お客様、株主様、従業員、お取引先様、更には地域社会から信頼される企業となることが重要であると考えております。

それらを実践するために当社グループ全従業員は「自律」「自浄」「自創」（自己を律して、自浄作用し、そして自己が創造する）の精神にてCSR活動への定着・推進を図っております。

（イメージ図）



1.3 大同メタルグループ 行動憲章

健全な企業活動の展開

大同メタルグループ(大同メタル工業株式会社および関係会社)は、国際・地域ルール、法令および社内規程を遵守し、健全で公正な企業活動を実践し、お客様、株主様、従業員、お取引先様、地域社会等のステークホルダーから信頼される企業となるよう努めます。

お客様の信頼に応える製品の提供

大同メタルグループは、社会的に有用で安全な製品を開発・提供し、お客様の満足と信頼を獲得します。

適切な情報開示

大同メタルグループは、株主様はもとより、広くステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公平に開示します。また、適正な財務処理に基づく信頼性のある財務報告を実施します。

人権の尊重

大同メタルグループは、「大同メタルグループ人権方針」に基づき、事業活動に影響を受けるすべてのステークホルダーの皆様の人権を守り、改善を続け、人権尊重の取り組みを進めます。また、安全で働きやすい職場環境の確保に努めます。

地球環境の保護

大同メタルグループは、気候変動問題をはじめとする、人類共通の財産である地球環境の保護を最重要課題として、信念と技術をもって積極的に取り組みます。

社会との共生

大同メタルグループは「良き企業市民」としての責任を果たし、積極的に社会に参画するとともに、社会貢献活動を推進します。

公正かつ適正な取引と調達活動

大同メタルグループは、サプライチェーン全体の共存共栄を図るため、公正かつ適正な取引と責任ある調達活動を推進します。

機密情報の保護

大同メタルグループは、適正な事業運営を行うために、会社が有する個人情報、お客様情報をはじめとする各種情報の保護・管理を徹底します。

1.4 調達活動基本方針

大同メタルグループは購買・調達活動において、大同メタルグループで制定された「企業理念」、「行動憲章」、「行動基準」及び「大同メタルグループ人権方針」に基づいて、関係法令の遵守、公正な取引関係の下で、グローバルな市場から必要な資材・サービス等を適切な品質・価格・納期で調達し、お客様が求める価値ある製品の提供に貢献します。

1.5 当社 CSR 調達の進め方

当社は、以下の通り CSR 調達を進めてまいります。

- (1) 発注業務に関与する担当者及び管理者は、各種講習会で得た知識を活用して CSR 調達を実践します。
- (2) お取引先様の CSR 活動実態把握を行うとともに、啓発に努めます。
 - ・ CSR の重要性をお取引先様にも正しくご理解いただき、お取引先様社内及び関係各社への展開を実施します。
 - ・ お取引先様へ CSR 活動を展開するにあたり、方針・ルール・手順を決めることから進めます。
- (3) お取引先様の CSR 管理体制の現状を把握し、自己評価により改善に繋げるため、お取引先様の CSR・人権等に関する取り組みについて、アンケート等による調査を実施させていただき、必要に応じて、大同メタルグループがお取引先様の活動状況を確認させていただく場合があります。また、ご希望により改善支援を行います。

2. お取引先様へのお願い

大同メタルグループでは法令遵守や社会貢献をはじめとする企業の社会的責任（CSR）を認識した事業活動を、当社グループのみならず、お取引先様にもご理解いただき、ともに発展していくことを目指し、公正な取引の実践と、お取引先様との共存共栄をしていきたいと考えております。

本内容は当社グループで展開している「行動憲章」、「行動基準」及び「大同メタルグループ人権方針」に沿ったものですので、お取引先様におかれましては、主旨をご理解いただき、ガイドラインに沿って、CSR活動推進をお願い申し上げます。

2.1 コンプライアンス(健全な企業活動)の展開

(1) 法令等の遵守

- ・法に反しないことはもちろん、社会的な常識・マナーに従って行動し、社会から非難を受けたり、他人に迷惑をかけたりしないよう注意を払う。
- ・会社の就業規則や社内規程、会社方針を正しく理解して遵守する。
- ・交通安全運動に積極的に参加するとともに、交通ルールを遵守し安全運転を心がける。

(2) 公正な競争

- ・独占禁止法や各国の競争法を遵守し、競合他社と市場の自由競争を阻害するような販売価格やシェアの取り決め(協定)は行わない。
- ・お客様、お取引先様・協力会社等と合法的な契約を取り交わし、それを遵守する。

(3) 適正な調達活動

- ・お取引先様・協力会社との取引において誠意をもって、公正で透明性の高い取引を行う。
- ・お取引先様・協力会社の法令遵守、倫理、品質安全性、人権、労働、安全衛生、環境保全、情報セキュリティ等にも関心を持ち、適切な取り組みが行われるように努める。
- ・購入にあたって独占禁止法・下請法を遵守し、お取引先様・協力会社(特に下請事業者)に、優越的地位を利用し特定の条件や不利益を強いるような行為や、不当な取り扱い、特定業者の排除を試みるようなことはしない。

(4) 公的機関との関係について

- ・公務員への贈賄行為、あるいはその誤解を受けるような行為を行わない。
- ・国家公務員倫理法・同倫理規程、不正競争防止法を遵守し、国の内外を問わず利害関係のある公務員・みなし公務員への贈答・接待を一切行わない。

(5)贈答・接待への対応

- ・社会通念上を超える贈答・接待を受けたり、要求したりしない。
- ・職務を利用して、個人的な便宜を図るような行為は行わない。

(6)グローバル事業活動

- ・自分の国の法令だけでなく、現地国並びに現地国間との法令(輸出管理法令・独占禁止法・外国為替管理法等)についても十分な知識を習得するよう努める。
- ・合弁契約・技術提携契約・役務契約等の基本契約のポイントを把握し、これら基本ルールの遵守に努める。

(7)知的財産の保護

- ・会社の知的財産権を速やかに確保・維持・活用することに協力する。
- ・他人、他社の知的財産(特許、著作物、ソフトウェア等)を無断で使用しない。

(8)情報管理の徹底

- ・会社の機密情報(開発、技術、経営、お客様およびお取引先様・協力会社様の情報、個人情報、その他内部情報)について、紛失・改ざん・漏えいが起こらないよう適切に管理する。
- ・会社の情報システム(インターネット、メール等)を私用目的で使用せず、不用意な交信を行わない。職務を通じて得た機密情報は退職後であっても他社に開示しない。
- ・盗聴・贈賄等の不正な手段で、競合他社、研究開発に携わる人、退職者等から情報を収集しない。

(9)反社会的勢力に対する姿勢

- ・社会秩序や健全な企業活動を阻害する恐れがある、あらゆる個人・団体(反社会的勢力)との関わりを一切持たない。
- ・反社会的勢力からの不当な要求、悪質商法等に対しては毅然とした態度で断る。

(10)責任ある資源・原材料の調達

- ・コンゴ民主共和国および隣接国で採掘され、武装勢力の資金源となっていることが懸念されている紛争鉱物の使用状況について調査を実施するなど、地域紛争や人権侵害、環境破壊といった地域社会に及ぼす悪影響に配慮した調達活動を行い、その恐れが懸念される場合は使用回避に努める。

2.2 情報開示について

(1)企業情報の開示について

- ・会社情報の適正管理を図るとともに、タイムリーかつ適正な開示を行い、企業の透明性を高めるよう努める。

2.3 お客様の信頼に応える製品の提供

(1)期待や要求の把握と反映

- ・一人ひとりが常に市場の声に耳を傾け、お客様のニーズに敏感に反応するという心構えを持つ。
- ・お客様等からの苦情、問い合わせ等には丁寧、誠実に対応する。

(2)安全・安心

- ・社会に貢献できる安全な製品の開発、設計、生産、販売する。

(3)品質向上

- ・生産にあたっては、作業標準を遵守し、品質基準を守って生産を行う。
- ・不良率の低減やクレームの撲滅に努め、製品の異常を発見した時は、迅速に処置を施すとともに、異常の原因を突き止め、問題解決の徹底を図る。

2.4 人権の尊重

- ・あらゆる事業活動において基本的人権および個人の尊厳を尊重し、人権侵害に加担しないよう努める。
- ・トップコミットメントのもと、人権方針の策定、周知を行い、自社の人権課題を把握し、対応できる体制を整備、従業員への教育に努める。
- ・自社の従業員や取引先、製品・サービスなどに直接関与する関係者に対して、人権を尊重し侵害しないよう働きかける。

【参考：大同メタルグループが取り組む人権課題】

(1)差別の禁止・多様性の尊重・受容

ダイバーシティ&インクルージョンを尊重し、国籍、人種、民族、肌の色、年齢、性別、性的指向、性自認、宗教、信条、社会的身分、身体的特徴、心身における障がいの有無、政治上の意見等による差別となる行動を一切行わない。

(2)児童労働の禁止

いかなる種類の児童労働も認めない。

(3)強制労働の禁止

いかなる種類の強制労働も認めない。

(4)人身売買の禁止

あらゆる形態の現代の奴隷制や人身売買も認めない。

(5) 労働者の権利の尊重

各国・地域の関係法令等に基づき、従業員の団結権、団体交渉をする権利等の労働基本権を尊重するとともに、従業員一人ひとりの多様性を尊重し、能力に応じた雇用、能力開発等の機会を公平に提供するよう努める。

(6) 適切な賃金支払いおよび労働時間の管理

各国・地域の関係法令を遵守し、賃金支払いや労働時間の管理を適切に行う。

(7) 安全で働きやすい職場環境の確保

ハラスメント等、人権を侵害するような行為を認めない。また、健康的で安全かつ衛生的な職場づくりに努め、自由闊達なコミュニケーションが行われ、一人ひとりが生き活きと働くことのできる職場環境の確保に努める。

2.5 環境の保護について

- ・ルール(環境法規則、社内規程)に基づき、安全や環境に配慮した製品の開発、設計に取り組むとともに、大気や水の汚染・排水や廃油等の流出防止、騒音対策等を図り、環境の保全に努める。
- ・省資源・省エネルギー活動に努め、CO2の削減に取り組むとともに、美化・緑化活動等にも積極的に参加する。
- ・「もったいない」、「3R (Reduceリデュース:ごみの発生抑制、Reuseリユース:再使用、Recycleリサイクル:ごみの再生利用)」を意識し、不要なものは購入しない、使用可能なものは繰り返し使う、分別廃棄をすすめる等、廃棄物削減を心がける。

2.6 事業継続計画(=BCP [Business Continuity Plan])の策定

- ・各種緊急事態に備え、通常行う活動や、緊急事態における事業継続のための方法、手段等をあらかじめ取り決め、文書化する。
- ・緊急事態やリスクへの対策を継続的に取り組むことで、事業継続に影響する緊急事態が発生しても安全を確保しつつ、重要業務を中断させることなく、または中断があっても可能なかぎり短時間で再開させるべく、取り組む。

2.7 社会への貢献

- ・事業活動において、持続可能な社会の実現のため、事業を通じて社会課題の解決に貢献するだけでなく、その事業活動を行っている地域社会に対しても、企業市民の一員であることを自覚し、その役割を果たすべく適切に必要な支援や貢献活動を行う。

2.8 管理体制の構築

- ・当ガイドラインを遵守するために、マネジメントシステムを構築するよう努める。
- ・当ガイドラインの要求事項をお取引先様に伝達し、遵守いただくよう努める。
- ・自社およびサプライチェーンの不正行為を予防するため、労働者やサプライチェーンなどを含むステークホルダーが利用できる苦情対応の仕組みを整備するよう努める。

以上